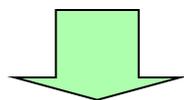


岐阜市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年5月～24年9月)

【中心市街地を巡る状況】

○繊維産業の衰退とともに小売店舗の撤退が相次ぎ、来街者が減少

○周辺市町では大型ショッピングセンターが相次いで立地



○中心市街地の人口減少

H9:13,347人→H18:10,766人(△19%)

○中心市街地の歩行者通行量の減少

H10:159千人/日→H18:81千人/日(△49%)

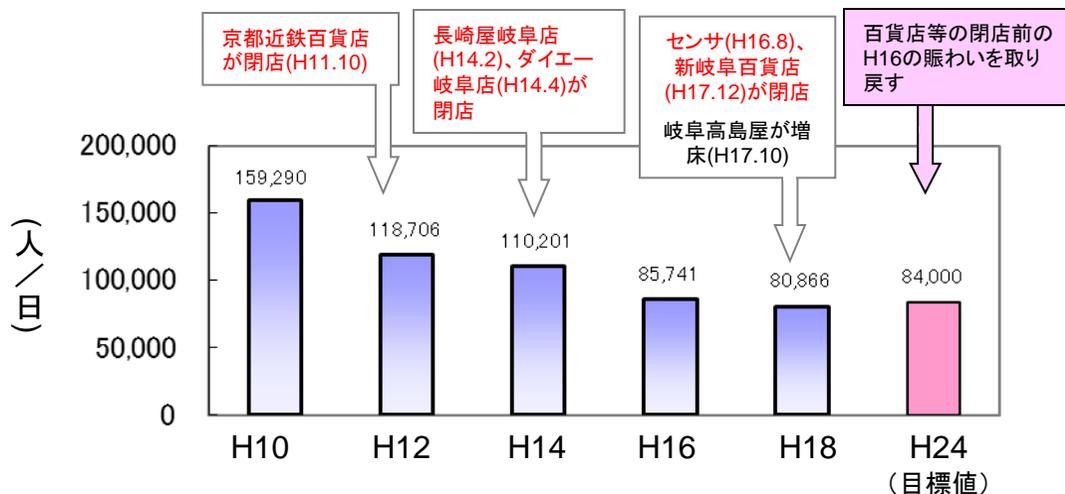
○中心市街地の商品販売額の減少

H8:124,411百万円→H18:54,674百万円(△56%)

【目標】

目標	指標	現況値 (H18)	目標値 (H24)
まちなか居住	居住人口	10,766人	11,600人
商業活性化	小売業年間商品販売額	547億円	559億円
	空き店舗数(柳ヶ瀬地区)	34店舗	28店舗
にぎわい創出	歩行者・自転車通行量	80,866人	84,000人

(歩行者・自転車通行量の動向と数値目標) *2年に1回、7月休日に調査



重点化した計画区域(650ha→170ha)で、岐阜駅周辺、柳ヶ瀬、岐阜大学医学部等跡地周辺を核に商業施設と居住機能を併せ持つ再開発事業や老朽化した公共・公益施設の建替えを促進するとともに、コミュニティバス等の公共交通体系の拡充により回遊性を高め、にぎわいの創出を図る。

岐阜市中心市街地活性化基本計画の事業概要

商業の活性化・まちなか居住の一体的推進

○平成17年10月の増床以降売上を伸ばす岐阜高島屋の南に隣接する地区で、**高島屋と連携**した再開発を促進。



○撤退した**大型店舗の空きビル**や跡地、閉館した映画館等にて、大店立地法の特例措置や再開発により、商業施設誘致を促進。



○高齢者向け賃貸住宅や訪問看護ステーション、診療所等、**医療・福祉などが一体となった住宅**を供給。



○市が柳ヶ瀬を対象に**建替え促進のための相談所の開設**及び建替計画コーディネートを実施(**全国都市再生モデル調査を活用**)。

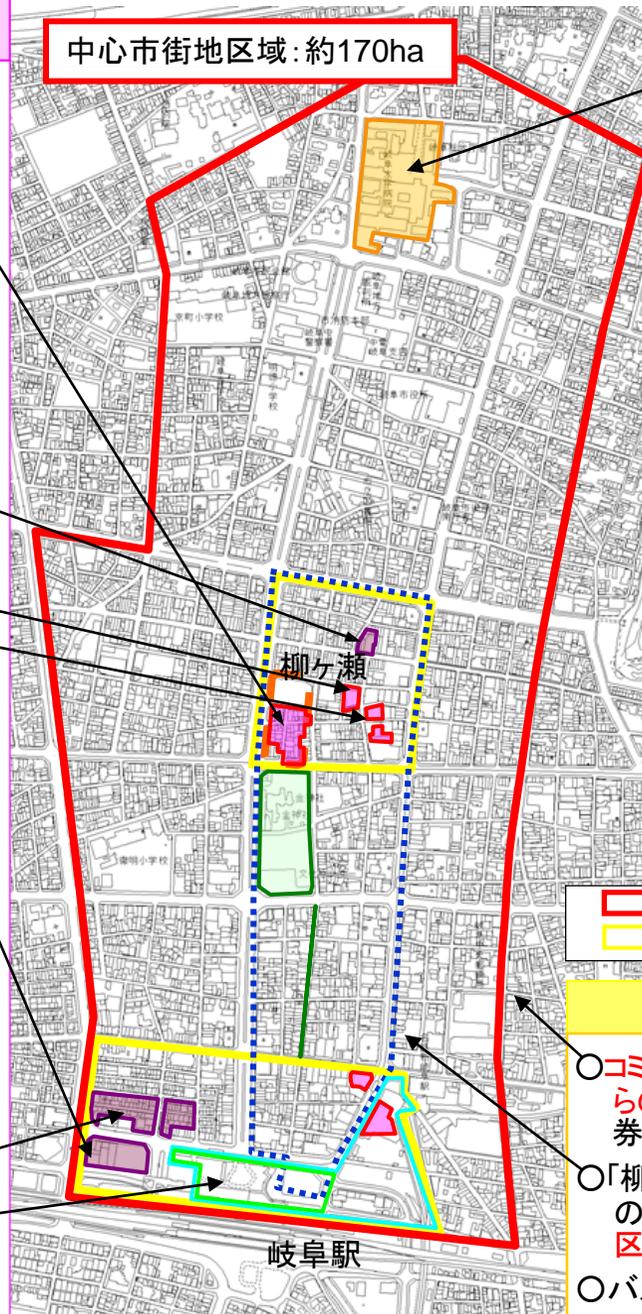
○岐阜駅前広場の整備



○問屋町の再開発



中心市街地区域: 約170ha



■ 中心市街地活性化基本計画区域 A=170ha * 柳ヶ瀬通周辺地区: 9ha
■ 都市再生緊急整備地域* A= 30ha 岐阜駅北地区 :21ha

施設整備

○**岐阜大学医学部等跡地**に情報センター機能、市民活動交流機能、子育て支援機能を複合した施設整備による魅力あふれる・特色のある拠点の形成。周辺地域への波及。

地域連携

○平成18年12月に発足した**ぎふ女子高生フォーラム**では、自分のまちにもっと愛着をもってもらおうと、バレンタインの季節にお勧めのスポット紹介等の活動を行っている。



回遊性の向上

○金(こがね)公園と玉宮通りの段差解消、玉宮通りにおけるセットバック化(まちづくり協定における両側各1.5m)等により、各種イベント、オープンカフェ、フリーマーケット等の開催を促進。



公共交通の充実

○コミュニティバスによる周辺3方面からの集客力を向上や、商店街バス券(1回分)への対象拡充を検討。
 ○「柳バス」(ワンコイン(100円)バス)の運行により、**岐阜駅前と柳ヶ瀬地区との回遊性**を向上。
 ○バス優先信号・優先レーン等、定時性の確保

